



JAPAN FOUNDATION FOR
UNITED NATIONS UNIVERSITY

Our Hope for
Humanity



jFUNU Newsletter

公益財団法人 国連大学協力会

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349

URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail jf@unu.edu

CONTENT NO.29 2017年7月

- 日本電子株式会社訪問と高尾山
- グローバルセミナー 湘南セッション
- 歌舞伎鑑賞会
- 理事会・評議員会開催

日本電子株式会社 本社昭島製作所を訪問



国連大学協力会は、世界各国から国連大学へ学びにきている大学院生を、毎年企業見学ツアーへ招待しています。今回はjfscholarship賛助会員として当法人に多大なご支援を頂いている日本電子株式会社の本社昭島製作所を2016年11月30日に訪問しました。日本電子株式会社は、電子顕微鏡の分野において世界最高水準の技術力を誇り、国際的にJEOLの略称で知られています。今回は、分析機器をはじめ、高度な医療を支える医用機器、半導体関連機器、産業機器等多種多様にわたる先端機器とその技術についてご紹介いただきました。

大学院生を支援しよう！ jfscholarship賛助会員

国連大学大学院で学ぶ学生のうち、主として開発途上国からの学生への奨学金として、日本での生活を支援する制度。個人でも団体でも会員になれます。

本法人への寄付には公益財団法人としての税制上の優遇措置が適用され、寄付者は所得税・法人税の控除が受けられます。個人の寄付については税額控除が、法人については法人税の控除の適用も認められております。詳しくは事務局までお尋ねください。

Find us on 

Facebookをはじめました！
国連大学や国連大学協力会の活動を紹介していきます。
是非イイね！をお願いします。

～QRコード～





最先端技術に興味津々 ～母国の将来を見据える姿も～

福山幸一取締役兼専務執行役員からあたたかい歓迎を受けたあと、日本電子株式会社の事業の概要や、環境への取組みについてご紹介がありました。続いて、開発館ホールにて走査型電子顕微鏡や質量分析計をはじめとするさまざまな機器のデモンストレーション、そして実際に生産が行われている現場を見学しました。最先端の技術を目の当たりにした学生からは「教科書で見たことはあるが、実物をみたのは初めて。」といった声や「民間企業がこれだけSDGs、特に環境や医療分野に貢献していることに驚いた。」という感想が聞かれました。

走査型電子顕微鏡や質量分析計のデモンストレーションが行われた直後には、水質調査の研究をする学生から「日本とは使用環境の異なるアフリカ諸国でも問題なく使えるのだろうか。」といった実用的な質問が飛び出したり、「将来は是非とも母国の研究所にも導入したい。」という声もあがっていたり、それぞれの課程を修了して自国に戻った後の各々の研究に役立てたいと意欲にあふれていたのが印象的でした。こうした最先端技術に触れ、技術者たちとコミュニケーションが出来る、このような企業見学は、学生たちにとって貴重な財産となりました。



紅葉のトンネルに大興奮！ 高尾山・薬王院

都心から1時間程度という近さ、標高600メートルという手軽さに加え、ミシュラン三ツ星の栄誉をうけ、近年日本人、外国人問わず人気の高い高尾山。紅葉シーズン真っかりのこの日、日本電子株式会社訪問に先立ち、国連大学の学生は高尾山頂上付近にある薬王院を訪れました。

僧侶の上村さんが御護摩の正装に法螺貝を携え、我々を出迎えてくれ、そのいでたちで学生たちは一様に驚きの表情を浮かべていました。特別に本堂の中をご案内していただいたのち、御護摩修行を見学。人間の煩惱を表す薪に大導師が点火し、その炎が立ち上る厳かな雰囲気の中、読経が続けられていく様子には一行は圧倒されました。

帰りは赤、黄色、オレンジの色とりどりの紅葉の美しいトンネルをくぐるかのような景色の中をリフトで下山し、学生たちは思い思いに記念撮影に勤しんでいました。

シリーズ 突撃！日本の社食 第2回 日本電子編

学生が社食を体験する「シリーズ 突撃！日本の社食」。今回は日本電子の社食に挑戦。宗教上の理由から、お肉が食べられない学生でも美味しい食事を、と特別に考えていただいたメニューは絶品。早朝の高尾山で御護摩体験をした直後ということもあり、冷え切った体がぽっと温かくなった。

こちらの社員食堂では、売り上げの一部を恵まれない途上国の人の給食などに役立てるTable for Twoプログラムを導入しており、毎週水曜日のメニューの売り上げの一部をこのプログラムの寄付に充てているとのこと。今回の訪問日が水曜日で、偶然にもTable for Twoの日であったため、学生たちもこのプログラムに参加した。研究や事業だけにとどまらず、こうした社員の日常生活の中でも社会貢献をするという日本企業の姿勢にも感動した様子であった。ご馳走様でした!!



国連大学グローバル・セミナー第32回湘南セッション 「国際社会と法の支配」

2016.8.30-9.2

セミナープログラム	
一 日 目	基調講演1 「国際社会における法の支配」 小和田恆 基調講演2 「国連の改革と法の支配」 ヴェセリン・ポポフスキー
二 日 目	講義1「平和か正義か？-人権の分野で国連が直面するジレンマ」 横田洋三 講義2「法の支配と移行期正義-紛争後の社会における正義の追及」 二村まどか 神奈川セッション～地域からの事例報告～ グループ討論
三 日 目	講義3「『人間の安全保障』のためのネットワーク・ガバナンス:CSRと法の支配」 佐藤安信 講義4「グローバル社会における企業経営」 茂木友三郎 特別セッション グループ討論
四 日 目	グループ発表



国際協力のエキスパートから学ぶ

今回は「国際社会と法の支配」をテーマとし、講師には小和田恆氏(国際司法裁判所裁判官)や横田洋三氏(公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長)を迎えました。また、JFScholarship賛助会員として国連大学協力会をご支援いただいているキッコーマン株式会社の茂木友三郎氏(キッコーマン株式会社取締役名誉会長)からグローバル社会における企業経営についてのご講演があり、学生は熱心に耳を傾けていました。

グローバル・セミナーの醍醐味

このグローバル・セミナーの良いところは、何と言っても新たな視野が広がることです。専攻や学年を問わないこのセミナーには、様々なバックグラウンドを持つ学生が集まっており、普段触れる事のない新しい視点を得ることができます。例えば、ある程度専門的な勉強を進めている大学院生には、ごく一般的な視点が得られ、大学に入学したばかりの1年生には初めて耳にする事も多く、秋からまた一層勉学に励みたいと相互にとって良い刺激になるようです。また、自身の専門をしっかり持ち、熱く議論する先輩の姿をみて、何か夢中になれるものを探したいと強く心に思うなど、大学生生活の過ごし方についてもヒントを得る学生もいます。

異文化理解を通じて絆が生まれる

「グローバル・セミナー」の名の通り、授業の半分は英語で行われ、また外国人学生も多く参加する事から、外国語の壁にぶつかった学生もいたようです。「法の支配」という難しいテーマに加え、日本人学生は英語での授業に、留学生は日本語での授業にそれぞれ苦労したようですが、空き時間や夕方のグループ討論でお互いにわからなかったところを補い合い、共に議論し合う中で理解がさらに深まった様子。共に壁を乗り越えたことで絆が生まれ、お互いに外国語、日本語の学習にも意欲がうまれたようです。

国連大学グローバル・セミナー湘南セッションとは

国内にある大学、大学院で学ぶ学生を中心に約100名の参加者が神奈川県にある湘南国際村センターに集い、4日間にわたり国際問題について理解を深める国連大学グローバル・セミナー湘南セッション。国際協力の最前線で活躍する実務家や研究者の講義、NPOなどで草の根活動を展開する市民とのワークショップにより知見を広めることができます。また一日の終わりにはゼミ形式での学習があり、討論を通じてより理解を深め、そしてセミナーの最終日には、グループごとに学習の成果を発表するという、きわめて中身の濃い学習ができるのがこのセミナーの特徴です。

セミナーの修了生ってどんな人？

グローバル・セミナーは30年の歴史をもち、これまでに数多くの修了生を世界中に送り出しています。修了生の中には、国連機関 United Nations、世界保健機構 WHO、平和維持活動 PKO といった機関で活躍している人たちもいます。国際協力分野のエキスパートを夢見る君、ぜひ参加してみませんか？

募集要項はこちらから→



恒例の初春歌舞伎を鑑賞

2017.1.11

国連大学協力会では、年の初めに国連大学で学ぶ外国人学生や研究者を対象に、歌舞伎鑑賞会へご招待しています。今年の初春歌舞伎の演目は、国立劇場開場50周年を記念し、「しらぬい譚(ものがたり)」。劇場の入り口には門松が飾られ、お神酒の菰樽が並び、新春の装いに一同期待が高まります。ロビーには大きな凧が上がり、着物姿のお客様も数多く見受けられました。3階席での鑑賞でしたが、大向こうの「音羽屋!!」の掛け声の大きさにびっくりしたり、途中客席の上空を斜めに飛ぶ“筋交い”の宙乗りでは、座席のすぐ近くを通る役者の息遣いを感じたりと息つく暇なし。そのほか屋台崩しなど見どころ満載のアクロバティックでダイナミックな仕掛けに学生たちは歓声を上げていました。また、動画配信で国内のみならず海外でも一躍人気者になったピコ太郎の物まねを取り入れた現代風の演出もあり、最後はお年玉を客席に投げ入れるひとコマもあり、新年らしい華やかな舞台を皆で堪能しました。



第35回理事会・第20回評議員会 開催

2017年3月9日、国連大学本部ビル5階のエリザベス・ローズホール国際会議場にて、第35回理事会・第20回評議員会が開催され、国連大学協力会の役員をはじめ、国連大学や関係各省から関係者が集まり、活発に議論が行われました。会議に先立ち、沖大幹国連大学副学長よりご挨拶があり、国連大学協力会の国連大学への継続的な協力に対する感謝の意が述べられました。さらに、国連大学の最近の動向として、移民問題や平和、政策にかかわる研究に重点を置くと共に、博士課程の教育に力を注いでいるとの報告がありました。2016年度国連大学協力会の事業報告・決算報告が行われ、審議の結果異議なく承認されました。



国連大学の近況を報告する沖国連大学副学長



あなたも一緒に支援してみませんか？



あなたが興味を持った活動はどれですか？

国連大学で学ぶ留学生に日本が誇る最先端技術を体感してほしい

企業見学
ツアー

日本での
生活

国連大学で学ぶ留学生に日本での生活を安心して送ってほしい

国際分野で活躍する人になってほしい

グローバル・
セミナー湘南

日本文化
体験

国連大学で学ぶ留学生に歌舞伎や日本の景勝地を満喫してほしい

私たち「国連大学協力会 jFUNU」にご相談ください
ご連絡をお待ちしております



公益財団法人 国連大学協力会
〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70
TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349
URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail
jf@unu.edu

国連大学協力会

検索

